



**編集・発行**  
 地方独立行政法人 大阪府立病院機構  
 大阪府立 呼吸器・アレルギー医療センター  
 大阪府羽曳野市はびきの3丁目7-1  
 TEL:072-957-2121  
 FAX:072-958-3291  
 HP:http://www.ra.opho.jp  
 E-mail:kokyucen@ra.opho.jp

**指の長さで・・・ 感染症センター長 松本 智成 (まつもと ともしげ)**

我々は生まれる前の母親の胎内にいる時に男性ホルモンを浴びていて、その浴びる量により性格に違いが出てくるのだそうです。

イギリスの研究者が男女の手の大きさを徹底的に測定したところ、その違いを発見しました。女性は薬指と人差し指がほぼ同じ長さなのに、ほとんどの男性は薬指がわずかに長かったとのこと。さらにプロスポーツ選手を調べたところ、普通の男性よりさらに長いことがわかったそうです。

一般的に母親の胎内で男性ホルモンを多く浴びた人は、「薬指が人差し指より長い」、母親の胎内で男性ホルモンの暴露が少なかった人は、「薬指が人差し指より短い」そうです。皆さんも一度自分の手をみてみてください。

ホルモンによって性格が変わるといのはなんとなく分かる話ですが、性ホルモンに似たような構造を持つビタミンDによっても結核の治療が影響を受けるらしいのです。抗結核薬が普及する以前は、ビタミンDが結核症の治療に用いられており、その代謝産物はin vitroで抗抗菌免疫を誘導することが知られています。

そこでイギリスの研究者が肺結核症の集中治療期に標準的な抗結核治療を受けている患者に、高用量のビタミンD補助薬を投与すると、ビタミンD受容体TaqI tt遺伝子型という変異をもつ患者で喀痰培養陰転時間の有意な短縮効果を認めるといことを見いだしました。ただしビタミンD受容体TaqI tt遺伝子型でない方にはビタミンDを高用量投与しても喀痰培養の陰転時間は短くならないそうです。

結核は、感染しても発病しない人がいますが、栄養状態や、ストレス等の他にも、このような遺伝子が影響を与えているのかもしれない。



**花粉症に御用心 (今年はいすぎ花粉) 診療局長兼眼科主任部長 笹部 哲生(ささべ てつお)**

今年は例年になく、スギ花粉の飛散が多いと報道されております。患者の皆様にとっては、憂鬱なことと思います。目が痒い、涙が止まらず、集中力が欠けるなどの症状で、日々の生活に支障がでる方も多くおられることでしょう。また、この時期は、受験シーズンと重なりますので、受験生の患者様や、御父兄の心配はさぞかし大きいと思います。そこで、症状を軽減させるための、花粉症の対処の仕方について、今回お伝えしたいと思います。

1. 花粉症のある方は、症状が出る前に眼科を受診して、抗アレルギー剤の点眼を医師と相談して、始めてください。
2. こまめに新聞やテレビ、ラジオのニュースを聴いて、花粉飛散の多い日は可能なら、外出をさけるようにして下さい。



3. どうしても外出しないといけない時は、防花粉眼鏡を装着し、帰宅時には花粉を払い落とし、顔や手や目をよく洗い、屋内へ花粉を持ち込まないように注意してください。
4. 風のある日は、窓を開けないようにしてください。
5. ふとんは外に干さないようにして下さい。
6. コンタクトレンズは花粉が吸着して、症状を強くすることがあります。可能なら、この時期コンタクトレンズをやめメガネにしてください。できないときは、コンタクトレンズの洗浄を十分に行ってください。1日使い捨てコンタクトレンズの装用をお勧めします。



## <臨床検査科の紹介シリーズ(2)>

### 免疫検査

臨床検査科免疫検査室 川澄 浩美

みなさんは「免疫」という言葉を耳にしたことがあると思います。

風邪を引いたのにいつの間にか治ってしまった、そんな経験はありませんか？これは体の中で、免疫機能が24時間休まずせっせと働いているからなのです。



細菌やウイルス（抗原）に感染したとき、体の中では、細菌やウイルスに対する「抗体」が作られます。抗体とは、異物につける目印のようなもので、体の外から進入してきた細菌やウイルス（抗原）にくっつきます。

免疫に関係する細胞は、抗体がついた菌やウイルスを敵とみなして食べたり溶かしたりして攻撃します。結果、細菌やウイルスが体の中から排除され、病状が回復するのです。

免疫機能はなくてはならない大切なものなのですが、ときに暴走する場合があります。

普通ならできるはずのない自分の体の部品に対する抗体や、敵とはみなせないような花粉や食べ物に対する抗体がなぜかできてしまうことがあります。また、外敵を攻撃する武器が強すぎて、自分の体にもダメージを与えてしまう場合などもあります。これらは免疫機能が過剰に働きすぎている状態で、働きを弱めるような治療が必要となります。

免疫検査では、免疫機能が正常に働いているかどうかを調べ、病気の治療に必要な情報をお返ししています。抗体の量（免疫グロブリン）、免疫を担う細胞が充分量あるか(リンパ球サブセット)、自分の細胞の核に対する抗体（抗核抗体）の有無などを測定しています。

また、他施設では実施されていない特徴的な検査としては、夏型過敏性肺臓炎で現れる抗クリプトコッカス抗体の検査なども行っています。夏型過敏性肺臓炎とは、感染症ではなく、クリプトコッカスやトリコスポロンなどの真菌を長く、多量に吸い込むことで引き起こされる病気で、免疫機能が過剰に働きすぎているアレルギーの一種です。カビの活動が活発になる夏に症状が重くなることより、「夏型」と冠がついています。夏、長く続く咳や発熱。家族が皆なんとなく調子が悪い。家がじめじめと湿っぽい。家に長くいる主婦やお年寄りなどが特に症状が重い……。思い当たる方がいらっしゃいましたら、ぜひ当センターの医師にご相談ください。



## 2月の教室案内

- \* カンガルー教室 ● 2月2日・16日・23日
- \* 喘息教室 ● 2月17日

午後1時半～ 第1会議室  
午後2時～ 第2会議室

### ○はびきの健康フォーラム○

日時：平成23年2月13日（日）入場無料

場所：LICはびきの（羽曳野市軽里1丁目1-1）

※当センターも参加します。みなさま是非ご参加ください。

さい。



【講演会】13:30～15:00（予定） 会場：ホールM ※要予約

「健康と笑い」 講師：大阪府立大学看護学部 准教授 池田由紀 氏

【体験・相談コーナー】11:00～13:00 会場：アトリウム

#### ◆肺年齢測定「あなたの肺は元気？」

肺年齢を知りたくないですか？肺年齢は簡単な呼吸機能検査でわかります。

肺年齢の他に、COPD（慢性閉塞性肺疾患。タバコなどが原因で起こる。）や他の肺疾患の疑いを判定するコメントも表示されるので、簡単に今の肺の健康状態を知ることができます。

#### ◆「あなたにもできる心臓マッサージ」

近くの人が急に胸を押さえて苦しみ倒れた！脈がなく心臓が止まっている！こんな時どうしますか。最近街角に置かれている「AED」を使った「心臓マッサージ」をすれば助けられるかも知れません。その実際を体験してみませんか？